

科目名		公共		学年	普通科		必／選	単位数
				1 年	国文	普通	必	2
					○	○		
学 習 目 標		人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
使 用 教 材		教科書：高等学校 公共 これからの社会について考える（数研出版） 副教材：テーマ別資料 公共（東京法令出版）						
評 価		評価法	定期考査、小テスト、パフォーマンス課題（スピーチ発表、プレゼンテーション、ディベート）、ノート、振り返りシート等で評価します。					
		評価観点の趣旨	a	知識・技能	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。			
			b	思考・判断・表現	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。			
			c	主体的に学習に取り組む態度	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
		上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、C の 3 段階）および評定（1～5 の 5 段階）にまとめます。						
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容		評価方法		
1 学期	4	6	公共的な空間をつくる私たち	・ 青年期、先哲の思想、地域の特徴や課題を理解できる。 ・ 自分と異なる価値観に基づく主張を聞き、他者の思いを受け入れたりすることができる。 ・ 自らを成長させる人間とは何か主体的に追求できている。		中間考査	中 間 考査	ディベート 振り返り シート
	5	9	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	・ 西洋近現代の思想、現代の諸課題と倫理を理解できる。 ・ 先哲の思想や生き方を検証し、自分自身の生き方について考察できている。 ・ 選択判断の手がかりとなる考え方を理解し身につけようとしている。				

	6 7	5	公共的な空間 における基本 原理	・民主社会の基本原則、日本社会の基本原則について理解できる。 ・個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができる。 ・日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつけることができている。	期末考查	期 末 考 査	デ「イ」ペ「ー」ト 振「り」返「り」 シ「ー」ト
	9 10	15	ルールをつく り守る私たち	・法と契約、司法参加の意義を理解できる。 ・身近な契約の例や、裁判でどんな国民の権利が守られているのか考察できている。 ・身近な紛争状況を設定して、それを解決するためのルール作りを体験的に行うことができる。	中間考查	中 間 考 査	デ「イ」ペ「ー」ト 振「り」返「り」 シ「ー」ト
2 学 期	11 12	15	政治に参加す る私たち	・政治参加と民主政治の課題、国際政治の動向、国際政治の課題と日本の役割について理解できる。 ・自分が理想とする選挙制度や国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明できている。 ・日々報道されている政治や国際社会のニュースについて関心が持てている。	期末考查	期 末 考 査	デ「イ」ペ「ー」ト 振「り」返「り」 シ「ー」ト
3 学 期	1 2	13	経済活動を行 う私たち	・経済のしくみと産業の変化、市場経済のしくみと金融、財政と社会保障、国際経済の動向と課題について理解できる。 ・経済と国民生活、グローバル化がどのような影響をもたらしたか考察できている。 ・経済社会に主体的に生きる一員として、今度の日本経済・国際経済について関心を持てている。	学年末考 査	学 年 末 考 査	デ「イ」ペ「ー」ト 振「り」返「り」 シ「ー」ト
	3 7		持続可能な社 会づくりの主 体となる私た ち	・現代社会の諸問題を多角的・多面的に考察し、その内容をレポートや発表で的確に表現できている。		レ「ポ」ー「ト」	レ「ポ」ー「ト」
担当者からのメッセージ（学習方法など）							
ニュースや教科書の事柄について話し合いの機会があります。普段から新聞・ネット問わず、ニュースに多くふれておいてください。							